

様式第2号（第9条関係）

会議録

会議の名称	令和7年度第1回ふじみ野市社会教育委員会議常設専門委員会		
開催日時	令和7年7月29日（火） 開会時刻 午前11時10分 閉会時刻 午後 0時10分		
開催場所	上福岡西公民館 地下ホール		
出席した者の 氏名 (委員9人中 5人出席)	役職名	氏名	役職名
	委員(委員長)	石川 健一	事務局(社会教育課長)
	委員(副委員長)	山口 ゆかり	事務局(〃副課長 兼文化財保護係主査)
	委員	齊藤 宏	事務局(〃社会教育係長)
	委員	長谷川 節子	事務局(〃社会教育係主任)
	委員	小澤 真樹	上福岡西公民館長
	公民館運営審議会委員 (委員長)	松館 千枝	〃 事業係長
	公民館運営審議会委員	山崎 進弘	〃 庶務係主任
	公民館運営審議会委員	戸波 節子	〃 事業係主任
	公民館運営審議会委員	坂本 光枝	
会議の議題	(1) 審議事項 ①上福岡西公民館閉館に伴う事業のあり方について ②令和7年度社会教育委員活動予定について (2) その他		
会議の公開又は非公開の別	公開		
会議の非公開の理由			
傍聴人の数	3人		
発言の内容	別紙「発言の要旨」のとおり		
会議資料	別添のとおり		
事務局	教育部 社会教育課		
議事の確定	確定年月日	令和7年9月30日	
	記名押印	役職名 委員長 石川 健一 ㊞	

別紙

発言者	発言の要旨
事務局 (笠掛係長)	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席者 専門委員 5名（欠席者 4名）で会議成立の報告 ・傍聴者 3名の報告 ・配付資料確認
事務局 (笠掛係長)	2 委員長・副委員長の選出について
山口委員	副委員長へ立候補。
齊藤委員	委員長の事務局案があれば提案いただきたい。
事務局 (木村課長)	石川委員を委員長として提案。 →石川委員、承諾。
事務局 (笠掛係長)	委員長は石川委員、副委員長は山口委員としてご本人の承諾をいただいた。拍手をもって委員の承認とさせていただく。
各委員	拍手（異議なし）。
事務局 (笠掛係長)	就任にあたり、委員長、副委員長よりご挨拶をいただきたい。
石川委員長、 山口副委員長	就任あいさつ
石川委員長	議事進行
事務局 (松原館長)	<p>3 議事（1）上福岡西公民館閉館に伴う事業のあり方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館運営審議会より当時の上福岡西公民館長宛てに提出された建議（令和5年11月7日付「公民館事業運営の今後の展開等について～「学びの仕組み」の再構築～」）について概要を説明。 ・資料1に基づき、具体的な事業例について説明。
石川委員長	質疑応答
齊藤委員	<p>まずは公民館活動の実態を踏まえることが重要であり、公民館運営審議会の意見を吸収しながら進めていくことが重要であると考えている。</p> <p>また、令和9年度以降の新たな地域課題解決事業の推進も重要なと思う。</p>

石川委員長	令和9年度と言っても、具体的な組立は来年度示さなければならない。今のタイミングで考えるご意見をいただきたい。
小澤委員	前年の専門委員会の中で、学校運営協議会を通して行政職員と連携を図るという話があった。私が学校運営協議会に参加する中で、実際に行政職員の参加が機能しているのか疑問に感じている。実際行政職員の学校運営協議会への参加率を社会教育課は把握しているのか。また、その職員同士の情報共有を行っていくとのことだったが、それはどうなっているのか。
事務局 (木村課長)	令和6年度の社会教育委員の答申の付帯意見の中で、「地域との連携推進による地域づくりを主導していくためには、社会教育との関わりが深い部課所の職員との連携は不可欠である」という意見があり、社会教育課としても重く受け止めている。学校運営協議会への行政職員の参加率については、全学校で把握しているわけではないが、社会教育課と学校教育課の職員は委員ではなく教育委員会の立場で参加している。また、参加職員による連絡会を学期に1回の目安で実施し、情報共有の場を設けている。
石川委員長	関連してふじみ野市は文化と生涯学習が教育から離れ市長部局になっている。市長部局の職員と連携し社会教育を理解してもらいたい。これからは「公民館」という視点から「社会教育」という視点で、事業運営が変わっていく。そういう背景の中でご意見があればいただきたい。
戸波委員	新しい文化施設に職員は常駐するのか。
事務局 (木村課長)	現在、文化施設に職員は常駐していないが、今年の5月から公民館職員を一部の時間帯、曜日で割り振り、配置している。上福岡西公民館が文化施設となった後の体制は未定であるが、現状はそういった措置をとり、検討している段階である。
石川委員長	新しい文化施設も管理体制は現在のステラ・イースト、ウェストと大きくは変わらないのではないか。その中でこれからの社会教育のあり方や公民館の考えを繋ぎ止め、方向性を見出していくことが大切ではないか。
長谷川委員	ステラは開館から間もないため意見は集約できていないかもしれないが、若い人からの意見はあるのか。同年代からは「大井図書館のフロアが分かれて使いにくくなつた」などの声を聞く。今後若い人たちの意見を参考にしていければ。
	また、専門委員会のメンバー構成について、現在は公民館運営審議会の方や社会教育士の方が含まれているが、今後メンバーが変わったときにそういった部門の方の選出を担保してもらいたい。
事務局 (木村課長)	発言に出た図書館の関係で1点ご報告させていただく。社会教育課では図書館も所管しているが、上福岡西公民館内の図書室については、新しい文化施設にもスペ

	<p>ースを設ける予定である。</p> <p>また若い人からの意見については、ステラ・ウェスト内の図書館利用者としての意見は社会教育課にいただいている。やはりフロアが分かれたことについては意見をもらっている状況だが、最近は少なくなっている印象。</p> <p>各図書館では近くにお住いの利用者が多いが、西公民館図書室含め特色があり、今後も特色を持った図書選びをしていきたい。</p> <p>また、一般の利用者については、ステラ・ウェストは学習スペースが充実しているので普段から学生、社会人利用が多い。西公民館のギャラリーも社会人や定期テストの時期は多くの学生が利用していると思う。</p>
松館委員	資料 1 でも触れられているが、社会教育主事の常駐をお願いしたい。また、職員が異動で 1 ~ 2 年ですぐに変わらないようにしてほしい。利用者も社会教育主事との相談やコミュニケーションを通して互いに学び、成長できるのではないか。
長谷川委員	松館委員の意見に賛成である。
山口副委員長	今のステラ・ウェストは利用者とのコミュニケーションがないように感じる。利用者が意見を窓口に伝えてもうやむやになってしまい立ち消えになってしまう。我々だけで議論するだけでなく文化施設の職員にも参加してもらうのも大事だと思う。
石川委員長	新しい文化施設の方に目が向いてしまったが、上福岡公民館、大井中央公民館、そして上福岡西公民館のこれまでの活動や役割を考え、今後は何が必要なのかという点に目を向けて検討していければと思う。
	議事進行
事務局 (笠掛係長)	議事（2）令和7年度社会教育委員活動予定について ・資料2に基づき説明。
事務局 (笠掛係長)	議事進行 4 その他
齊藤委員	追加配付資料に基づき、今後の専門委員会の活動方針案について情報提供。
事務局 (笠掛係長)	次回会議について
山口副委員長	ステラ・ウェスト、イーストはこの建議の内容を実践しているのか。新しい文化施設に対し実現できるよう議論するのか。
事務局	この専門委員会は、これから社会教育事業のうち、これまで公民館で行ってき

(木村課長)	た事業について、どのようにすればより良くなるのか議論する場である。個別の施設についてというわけではなく、それも含めた公民館的事業をどのように今後展開していくことがより良い社会教育の発展に繋がるのかという面から議論していただきたい。
山口副委員長	5 閉会